



# 第12回 JAあきた白神女性部大会

第12回 JAあきた白神女性部大会が、2月4日にプラザ都で開催され、平成27年度の女性部活動や食農教育の取組みなどを報告し、くらしの活動を通じて地域を元気にする決意を新たにしました。

大会には各地区の女性部員約250名が参加。はじめに佐々木博子女性部長が「女性部会員の一人一人が、地域の人々と連携してにぎわい作りをしていくことが必要となる。また、食農教育は今後、一層重要性を増すと思われる。農業を身近なものに感じられる取組みをしていこう」と挨拶をしました。また、佐藤組合長からは「TPPの大筋合意等で農業改革論が加速している中、女性部の皆様には、家族とともに農業を支える力、生活を支える力、生産者と消費者の目を持つ力で、共に農業改革に立ち向かっていきたい」と祝辞を述べました。

食農教育実践発表では、淳城西小学校5年生の代表6名が、昨年ジャガイモ、サツマイモ、ねぎ、カボチャの植え付けから収穫を体験して学んだことを発表しました。児童たちは、「野菜の生長を願いながら、わくわくして行った苗植えや、たくさんの野菜を手にした収穫の喜びを感じることができた。ねぎの収穫では、お店で売っているものと形が違ってびっくりしました」と感想を話してくれました。

そのあと、今年度の「県家の光大会」に出場した越前谷二ツ井支部長の「我が家の玄関は女性部活動展示室」と題した発表では、冬期講座など1年を通した女性部活動を発表し、時折笑

いを交えた発表で会場からは、大きな拍手が起こりました。

午後の講演では音楽療法士の高木恭子氏による「輝くあなたに」が行われ、音楽の楽しさや大きな声で歌う満足感、それがストレス解消につながると話してくれました。高木さんも地元の奈良県では女性部員という事もあり、身近な存在の方の講演を聞くことができ、白神女性部員達も和やかに交流を深めました。



← 次年度へ向けて  
抱負を語る佐々木部長



← 音楽療法をテーマに  
講話した高木氏



→ 農業体験活動を発表する  
淳城西小学校5年生